

昭和二十九年六月發行

漢文學會々報

第十五号

東京教育大學漢文學会

発刊の辞

中西清

東京教育大学漢文学会は、東京文理科大学漢文学会の後を承け、今回、その会報を漢文学会会報第十五号として発刊することになった。洵に欣ばしい次第である。

今日、人文系の学会で、學術の専門的研究の会報を出すことは、経費の点からみて、非常に困難とされている。しかるに会員諸賢が多大の犠牲を払つて、昨年に引続き、本会報を発刊されたことは誠に感謝に堪えない。

さて本誌掲載の論文は、紙数の制限上、僅かに経学、子学、文学、日本漢文学に関するもの各々一篇程度に過ぎないが、これに失望することなく、今後もますます研究の成果を発表されるよう切望して止まない。

われ／＼学徒の生命は、倦むことなき学問の研究であり、会報誌上の論文は、わが会員諸賢の平素の研究の結実したものである。どうか今後も更に研鑽を続けられ、会報の内容を充実して、わが学会の発展に寄与せられんことを祈る。

目次

○道家の無について……………一頁

東京教育大学教授 小林 信明

○劉向に於ける古文学的性格について……………七頁

東京教育大学助教授 鎌 田 正

○源氏物語に於ける

引用漢詩文の典故に関する一試論……………一四頁

熊本女子大学助教授 古沢 未知男

○慎到・韓非の法思想の差異に就いて……………二〇頁

東京教育大学助手 緒 形 暢 夫

○対句中に於ける語の情緒的価値……………二六頁

京都大学大学院学生 谷 川 英 則

○彙 報……………三二頁

THE KANBUN-GAKKAI KAIHŌ

No. 15 1954

CONTENTS

Articles:

Shimpei KOBAYASHI, On the Concept *Wu* of the *Tao* School.....(2)

Tadashi KAMADA, On the Characteristics of the *Ku wên* School,
Seen in the Thoughts of *Liu Hsiang*.....(7)

Michio FURUSAWA, An Essay to the Study of Chinese Poems
and Proses quoted in *Genji-Monogatari*.....(14)

Nobuo OGATA, On Differences of Point of View concerning Law
between *Shên Tao* and *Han Fei-tzû*.....(20)

Hideori TANIKAWA, The Emotional Value of Poetic Dictions
in Antitheses, — an Essay based on '*T'ang-jên-chü-fa*' in '*Shih-jên-yü-hsieh*'(26)